

# 関常幸議会報告

第65号  
2023.11

発行責任者

南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐 2015 番地  
TEL 025-777-2245



## 南魚沼市議会 新体制決まる！

### 新議長に 清塚武敏 氏

議員任期4年の折り返し2年目の11月7日、議会人事の市議会臨時会が開催。

10月は、議会人事のため各会派長は、常任委員会の所属や副議長、委員長ポストの調整等で、議員は連日会議や話し合いが行われた。

来年、市制20周年を迎える中で、直近の大きな課題として、ゆきぐに大和病院の診療所化、健診センターの建設、小・中学校の統合学区再編、新ごみ処理施設建設、統合給食センター建設と大型事業が続く。

市政の運営は、市民から選挙で選ばれた市議会と、同じく選挙で選ばれた市長の二元代表制で行う。市長は執行機関として、議会は議決機関として、互いに競い合い、協力し合いながら市民福祉の向上に努めている。

議員一人の力は弱いですが、清塚議長の下、議員が結束（議会力）することにより、市長に対し大きな力となる。

議会では、昨年「議会改革特別委員会」（委員長 小澤実）を設置し、情報の公開、情報の共有、市民の多様な意見の把握、市民の市政への参加、市民に開かれた議会、市民に分かりやすく信頼される議会を築くため検討協議している。

令和5年度中には「南魚沼市議会基本条例」が制定され、清塚議長の下「議会力」で、南魚沼市の更なる発展に全力を注ぐ。



# 南魚沼市議会 (平成5年11月7日)



議長 清塚武敏



副議長 寺口友彦

## <会派>

南魚みらいクラブ	◎吉田光利 ●目黒哲也 ○桑原圭美 塩川裕紀 清塚武敏 小澤実 黒滝松男 関常幸
歩む会	◎鈴木一 ●塩谷寿雄 ○牧野晶 勝又貞夫
市民クラブ	◎梅沢道男 ●佐藤剛 ○田中せつ子 寺口友彦
未来創生会	◎永井拓三 ○大平剛 中沢一博
日本共産党議団	◎中沢道夫 ○川辺きのい
無所属	黒岩揺光

(◎会派長 ●幹事長 ○会計)

## <議会人事>

議長	清塚武敏	副議長	寺口友彦	監査委員	黒滝松男
議会運営委員会	◎塩川裕紀 ○梅沢道男 目黒哲也 中沢道夫 永井拓三 鈴木一 桑原圭美				
総務文教委員会	◎鈴木一 ○大平剛 川辺きのい 塩川裕紀 佐藤剛 塩谷寿雄 黒滝松男				
産業建設委員会	◎永井拓三 ○吉田光利 黒岩揺光 梅沢道男 中沢道夫 牧野晶 小澤実				
社会厚生委員会	◎目黒哲也 ○田中せつ子 勝又貞夫 寺口友彦 中沢一博 桑原圭美 関常幸				
広報編集特別委員会	◎川辺きのい ○大平剛 目黒哲也 梅沢道男 塩川裕紀 牧野晶				
議会改革特別委員会	◎小澤実 ○佐藤剛 大平剛 中沢道夫 吉田光利				

(◎委員長 ○副委員長)

我が会派・南魚みらいクラブは、8人の議員を有しており、全ての議案、政策に責任があり、クラブ会は月に数回開催する。本人事に当たっては、毎日のように協議した。我が会派からは、議会運営の要である、議会運営委員長とゆきぐに大和病院の診療所化等を抱える、社会厚生委員長に就任する。

議長、副議長への立候補者は、所信表明をし、全議員の投票で選任した。ちなみに議長選挙の結果は、清塚 19 票、黒岩 1 票、白票 2 票。

副議長選任をはじめ、ほとんどの委員会も投票で委員長を選任した。

## ★ 9 月定例議会（9月4日～22日）

9月議会は決算議会とも言われ会期も19日間と長い。  
令和4年度一般会計決算、歳入394億9千万円、歳出369億8千万円。  
4日間審議をし、賛成多数（反対3）で認定される。

吉田議員の一般質問「ゆきぐに大和病院の診療所化、令和7年度予定のようだが、厳しい医療環境（働き方改革により医師不足）を考えた時、前倒しも・・・」に対し、答弁で市長は「ゆきぐに大和病院の診療所化の時期は、令和6年11月1日で検討している」と、初めて時期を明言する。

10月10日大和庁舎、11日まほろば、12日大崎農業会館、13日東開発センターで「住民とともに創る新たな医療体制」住民説明会が開催された。

ゆきぐに大和病院は、多くの非常勤（応援）医師により、病院運営が支えられてきたが、令和6年4月施行の「医師の働き方改革」の影響で、医師の応援が受けられなくなることから「ゆきぐに大和病院」は、医師不足で入院機能が維持できなくなる。決して、経営の合理化による再編ではない！

診療所化するゆきぐに大和病院の機能は

- 入院は市民病院へ
- 外来診療はこれまでどおり
- 在宅支援は拡充（訪問看護ステーションの設置など）

6月、9月の議会で、所管の社会厚生委員会の委員長が、ゆきぐに大和病院の診療所化への協議内容、医師不足等くわしく報告しており、会派でも、数回の勉強会を開催した。

医療環境を鑑みれば、入院の市民病院へはいたし方ない。外来診療は今までどおり、在宅支援は今までより拡充。終末期を看取る体制の充実を熱望。また、健診センター開院と併せて、市民病院へ直通で行かれる市民バスの運行。そして、計画通り浦佐地域への新築移転。

私の考える名称は「ゆきぐに大和診療所・地域包括医療センター」。

## ★ 第2回市議会臨時会(10月16日)

本臨時議会は「一般会計補正予算」で、今年の猛暑・小雨により、被害を受けた市内農業者と学童の共通リフト券の購入への支援。

- ・米の出荷・販売を行っている農家の減収に補助 358 百万円  
10aあたり7,000円
- ・堆肥を水田散布に補助 806 百万円
- ・県の農林水産業振興資金借り入れ農家に利子補給
- ・共通リフト券購入補助金（15,000 から 18,000 円に値上がり）  
補助額 5,000 円を 8,000 円に増額
- ・コシヒカリ PR キャンペーン費 3250 万円

全会一致と思いきや、コシヒカリPRに異議を唱え、登壇し反対の意見を述べるが、賛同者は無く賛成多数で可決する。

## 主な活動日誌

### ★中越地区市議会合同議員研修会(8月10日)

中越地区10市で構成しており、今年の当番議会は長岡市、昨年は当市が幹事で湯沢のホテルで行う。

<講演会>

- ・報告 長岡市議会における大規模災害時の取り組み
- ・講演 演題「中越地震の教訓をかたちにする」  
～地域の防災リーダー育成を目指して～  
講師は中越市民防災安全士会会長 岸和義氏



長岡市議会加藤議長

### ★憲法改正県民集会(9月9日)

「実現させよう憲法改正！県民集会」が新潟市県民会館大ホールで開催。新潟選挙区の国会議員8名全員が挨拶。

- ・記念講演(14:30～16:00)

演題：日本の進路と誇りある国づくり

講師：櫻井よしこ氏

(美しい日本の憲法をつくる国民の会共同代表)



櫻井先生

### ★南魚みらいクラブ行政視察(10月5日、6日)

数年前に千葉で豊岡市長の「6年間(2011年1100人～2017年50,000人)で外国人観光客を45倍に」の講演を聞き、コロナでようやく今回市役所を訪問する。

<5日:13:30～15:30>

「城崎温泉・インバウンド誘致に成功した取り組みについて」

<6日:10:00～11:30>

「公立豊岡病院の現状と取り組みについて」

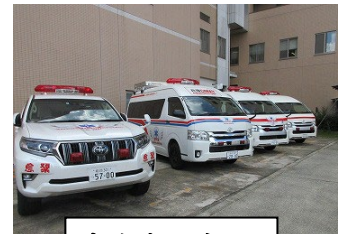
医療圏域は2千K㎡で県の四分の一の面積で人口21万人。

魚沼圏域より面積は少なく人口は多い。

医師不足や働き方改革、病院の統合、指定管理等について調査。



豊岡市役所にて



ドクターカー

### ★議員会米沢市訪問(10月11日、12日)

南魚沼市と米沢市は上杉景勝公・直江兼続公との関係で、昭和61年に歴史親善友好都市の提携を結び、NHK大河ドラマ「天地人」の放映で一層の交流が深まる。



直江石堤

### ★セルデン町姉妹都市

#### 締結40年フォーラム(10月13日)

主催者 林市長あいさつ

来賓あいさつ 駐日オーストラリア共和国大使

新潟県副知事

チロル州自治体会長・セルデン町長

- 基調講演「チロル州・新潟県の観光戦略」

シェプフ セルデン町長

前川 新潟県観光文化スポーツ振興部長

#### 編集後記

- 大変寒くなってきました。風邪をひかぬよう、健康に留意しましょう。
- 12月4日から定例議会が開会します。
- 特に夕方の車運転、高齢者、自転車に注意し「交通安全」